

# 学校法人 加計学園

## 平成19年度事業報告

### 【 倉敷芸術科学大学 】

#### I. 事業の概要（全般）

##### 《申請関係》

平成20年度に向けて、芸術学部を美術工芸学科（定員45名）、メディア映像学科（定員30名）、デザイン学科（定員35名）に改組し、デジタルフォトコースなど17コースを設け、産業科学技術学部では、IT科学科（定員40名）、起業経営学科（定員30名）に名称変更・定員変更、さらに観光学科（定員40名）を新設して、20名の定員増を行ないました。また、生命科学部では生命動物科学科に3年次編入学定員（8名）を増員、更に生命科学科（定員80名）を分離し、生命医科学科（定員40名）新設と生命科学科（定員40名）には医療工学コース、生命化学コース、フードサイエンスコース、マリンバイオサイエンスコースの4コースを設けました。

##### 《人事》

教員役職者の任期満了に伴い、通信教育課程に主任を、統合された入試広報部に入試広報部長を新たに設け、それ以外の役職者は一部を除いて再任されました。

##### 《教育研究計画》

- (1) 生命科学部生命動物科学科について、年次進行に伴い、教育環境を整備しました。
- (2) 学生の満足度を上げるため、更なる改革、退学者の減少対策を進めました。
- (3) 開学して13年目となるため、施設・設備の修繕等の必要が生じており、年次計画により修繕、設備の更新を行ないました。
- (4) 文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）に採用された取組である「人生を展望した総合的キャリア教育の実践」を年次計画に基づき実施しました。

（実施期間 18年度～20年度 総事業費 17,630千円）

##### 《組織関係》

業務改善、合理化のため、庶務部学部事務課を庶務課に統合、学生部厚生課を学生課に統合しました。

入試業務と広報業務の連携強化のため、入試部と広報室を統合し、入試広報部を設置しました。

## II. 大学の概要

### 1. 学生の定員現員数

(平成19年5月1日現在)

研究科・学部・学科等			定員数		現員数					
			入学定員	収容定員	1年	2年	3年	4年	合計	
通	大	芸術研究科(修士)	20	40	8	14	—	—	22	
		〃 (博士)	4	12	1	2	2	—	5	
		学	産業科学技術研究科(修士)	16	32	12	10	—	—	22
			〃 (博士)	4	12	1	3	4	—	8
		院	人間文化研究科(修士)	15	30	3	4	—	—	7
大学院 計			59	126	25	33	6	—	64	
学	学	芸術	美術学科	40	160	46	41	41	40	168
		映像・デザイン学科	40	160	42	55	43	53	193	
		工学・デザイン学科	30	160	21	35	48	37	141	
		計	110	480	109	131	132	130	502	
	部	産業科学技術学部	コンピュータ情報学科	50	260	35	50	61	77	223
		生命化学科	—	—	—	—	1	5	6	
		起業学科	30	150	39	28	37	27	131	
	計	80	410	74	78	99	109	360		
	部	国際教養学部	教養学科	—	—	—	—	1	1	2
		起業学科	—	—	—	—	1	3	4	
計		—	—	—	—	2	4	6		
部	生命科学部	生命科学科	90	400	94	104	131	112	441	
	健康科学科	60	210	70	70	70	51	261		
	生命動物科学科	60	100	85	49	—	—	134		
計	210	710	249	223	201	163	836			
学部 計			400	1,600	432	432	434	406	1,704	
通学制 計			459	1,726	457	465	440	406	1,768	
通	大	芸術研究科(修士)	10	20	5	6	—	—	11	
		産業科学技術研究科(修士)	20	40	0	1	—	—	1	
		人間文化研究科(修士)	30	60	5	5	—	—	10	
	通信制大学院 計			60	120	10	12	—	—	22
	信	学	産業科学技術学部	コンピュータ情報学科	200	1,300	5	10	11	18
起業学科			—	300	—	—	—	1	1	
計			200	1,600	5	10	11	19	45	
部	国際教養学部	起業学科	—	300	—	—	—	3	3	
通信学部 計			200	1,900	5	10	11	22	48	
通信制 計			260	2,020	15	22	11	22	70	
留学生別科			30	30	20	—	—	—	20	
合計			749	3,776	492	487	451	428	1,858	

(単位：人)

### 2. 学年暦

	春期休業	入学宣誓式	夏期休業	冬期休業	学年末休業	学位記授与式
倉敷芸術科学大学	4月1日 ～4月4日	4月5日	8月3日 ～9月23日	12月19日 ～1月7日	3月4日 ～3月31日	3月23日

### Ⅲ. 各事業の概要

#### 1. 教育・研究活動の進捗状況

- (1) 一人ひとりの学生に視点をあわせた教育を行い、少しでも退学者の減少に繋がるよう力を入れ、平成18年度4.7%だった退学除籍率を4.2%に減少させました。
- (2) 加計教育コンソーシアム、大学コンソーシアム岡山を活用して、他大学の特色ある講義を開講しました。
- (3) 産学官連携（岡山TLO等）、高大連携を通じて、大学の地域貢献によって社会的使命を果たすと共に、外部資金の獲得にも力を入れました。

#### 《FD・SD》

FD及びSDの一環として講演会を開催しました。

- (1) FD講演会「STOP! ハラスメント～あなたが加害者にならないために～」  
講師 菊池綜合法律事務所 菊池捷男氏 (H19.6.27実施)
- (2) SD講演会「インターネット安全教室」  
講師 中国経済産業局 大原晃洋氏 他2名 (H19.11.29実施)
- (3) FD講演会「倉敷が大学に期待するもの」  
講師 倉敷商工会議所 副会頭 岡荘一郎氏 (H19.12.5実施)

#### 《施設・設備関係》

- (1) 施設の整備（総額33,668千円）  
建物支出（31,935千円）
  - ・5号館実習室他改修工事（17,434千円）
  - ・加計美術館加計グループ創業者加計勉記念コーナー等改修工事（14,501千円）構築物支出（1,733千円）
  - ・校内照明設備工事（1,733千円）
- (2) 設備の整備（総額77,746千円）  
教育研究用機器備品支出（39,516千円）
  - ・生命科学部実験・実習用機器（13,533千円）
  - ・全学部・学科実習用機器（25,983千円）
  - ・実習用パソコン（15,000千円）リース導入
  - ・全学ネットワーク機器更新（110,000千円）リース導入
  - ・語学実習設備（CALLシステム）（30,900千円）リース導入図書支出（38,230千円）
  - ・生命動物科学科図書52冊（1,760千円）創設
  - ・全学部・学科用図書（36,470千円）

#### 《補助金関係》

- (1) 文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）の実施 5,500千円
- (2) 科学研究費補助金 基盤研究(C)（一般）2件 3,640千円（840千円）
- (3) 受託研究 2件 8,750千円 共同研究 7件 7,000千円
- (4) 寄付金 4件 3,600千円

入学者数・卒業生数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成19年5月1日現在)

		入学者	留学生	社会人
大学院	博士	2	0	1
	修士	23	3	0
大学院 (通信制)		10	0	—
学部		432	20	2
学部 (通信教育課程)		5	0	—
別科		20	20	—

(単位：人)

卒業生数等一覧 (平成19年度)

		卒業生・ 修了者	退学者	満期退学者	除籍者	休学者	留年者
大学院	博士	3	0	2	0	0	1
	修士	22	3	0	0	0	0
大学院 (通信制)		10	0	0	1	0	0
学部		395	60	0	11	10	11
学部 (通信教育課程)		10	2	0	5	1	0
別科		18	0	0	0	0	0

(単位：人)

## 2. 学生の募集・広報活動

少しでも志願者、入学者の増加を目指し、従来の基本路線を継承しつつ、新たな取組みを行いました。

### 3. 就職活動状況

- (1) 2、3年次生を対象に職業適性自己理解テストおよびSPI試験を2回実施して、自己分析を促しました。4年次生は、学部・学科・専攻・コースにより就職・進路状況が異なるため、個別相談に力を注ぎました。
- (2) 各学部ごとにスタッフを配置し、個々の学生と連絡を取り、履歴書の書き方、面接指導等に重点を置きながら指導を徹底しました。
- (3) 企業訪問（採用情報収集、採用依頼）、医療機関への求人依頼を積極的に行い、希望地域、業種の情報収集を行いました。
- (4) 企業担当者を学内に招き、学生との個別面談等を行う学内企業懇談会を2月に3年生を対象に実施し、早期の就職活動の支援を行いました。
- (5) 合同就職懇談会（10月福岡、11月東京、3月大阪・広島で企業担当者と教職員の情報交換会）を行ないました。
- (6) インターンシッププログラムを計画し、できるだけ多くの学生が参加できるように検討しました。
- (7) 3年次生対象のガイダンスを下記のとおり実施します。
- ・就職ガイダンス15回開催。
  - ・職業適性自己理解テスト1日5回3日間実施
  - ・SPI適性模擬検査2回実施
  - ・就職対策講座2日間開催
  - ・公務員採用試験対策講座2回開催
  - ・4年次生による企業内定者報告会2回開催
  - ・企業担当者による業界説明会4回開催
  - ・OB・OG報告会開催
  - ・就職実践模試(START)エントリーシート攻略テスト6日間実施
  - ・就職対策講座5日間開催
  - ・模擬面接：（個別、グループ面接）指導随時実施

#### (8) 就職率及び就職率の推移

区分	年度	修了者数	就職希望者数 A	就職			就職しない数	進学者数 (大学院)	不明
				就職 B	未就職	就職率 B/A			
大学院	15	38人	18人	17人	1人	94%	15人	5人	0人
	16	39	11	10	1	91	24	4	12
	17	26	12	9	3	75	10	4	0
	18	17	8	6	2	75	8	1	0
	19	22	11	10	1	91	9	2	0
学部	15	352	185	157	28	85	135	32	0
	16	336	201	187	14	93	113	22	0
	17	315	191	182	9	95	87	37	0
	18	337	253	246	7	97	58	26	0
	19	394	266	246	20	92	96	32	0

#### 4. 財務関係

##### 主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	18年度決算額	19年度決算額
学納金収入	2,757,499	2,768,733
補助金収入	498,910	477,017
その他収入	148,938	108,440
帰属収入合計	3,405,347	3,354,190
基本金組入額合計	△ 63,643	△ 17,285
消費収入の部合計	3,341,704	3,336,905
人件費	2,098,278	2,124,871
教育研究経費	1,071,778	1,074,763
管理経費	239,787	258,585
その他支出	25,718	25,853
消費支出の部合計	3,435,561	3,484,072

#### ○収支改善対策の具体的取組と効果

倉敷芸術科学大学の教育理念に基づく教育研究を行うために、健全な経営体制となるように下記のとおり改革・改善を行いました。

##### (1) 学生の確保・退学者の減少

平成19年度は各学部学科で学生確保のための特別予算（教育活性化予算）を計上し、ホームページの充実や学部学科の新たな試みに補助を行ないました。平成20年度以降の学生確保にあたり、志願者の少ない学科については改組するなど、全学部学科について見直しを行いました。

平成17年度からの取組で、退学希望者に対して必ずチューターが面談し、退学理由やそれに至るまでの経緯を必ず書かせるようにして、できるだけ退学しないように指導しました。

##### (2) 補助金・外部資金の確保

補助金や寄付金を受けた者が通常予算に加えて、予算を重点配分することで、やる気のある教員、特色ある研究者が、補助金・外部資金を受けやすい体制作りの計画を検討しました。

##### (3) 事業収入・収益事業の確保

大学の施設、教員を利用して、社会人（団塊世代）を対象とした生涯学習講座の充実に努めました。講座としては、芸術学部では染織、ガラス、陶芸、絵画など、産業科学技術学部ではパソコン、生命科学部では、運動、健康など本学の特色ある講座で、専門性を活かした講座を考え、実施しました。

また、動物病院では各地の動物病院から紹介を受けた動物の治療、検査を行ないました。

##### (4) 教員採用抑制による人件費削減

年次進行中の学科や授業の実施、コースの運営に支障をきたす場合を除き原則として採用は行わず、カリキュラムの組換えなどにより人件費の抑制を行いました。

##### (5) 教育研究経費・管理経費の見直しによる削減

不要照明の消灯、エアコンの設定温度の徹底など節電に努め、原油高による光熱水費の上昇に対応すると共に、耐用年数の過ぎた機器を省エネタイプの機器に更新するなど経費節減に努めました。

外部委託している清掃についても研究棟、管理棟で可能なところは極力各自で清掃を行い、経費の削減を図りました。また、旅費などの経費についても支出目的等を精査して節約に努めました。